

令和6年11月28日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標 題

出雲地域GAP生産者協議会が「いずも産業未来博2024」に出展

(ダイジェスト)

出雲地域GAP生産者協議会は、昨年度に引き続き「いずも産業未来博2024」に出展し、こだわりと自信をもって生産した出雲市産の旬の美味しまね認証産品を販売、PRしました。また、美味しまね認証制度の認知度向上に向け、アンケート調査や動画映像等を通じ、情報発信しました。

出雲地域GAP生産者協議会（神田真里会長、会員数23）は、昨年10月に結成された出雲市内のGAP・美味しまね認証取得者で構成する組織で、会員のGAPの取組みに役立てるための研修会や交流会、販売促進・PR活動等を行っています。

当協議会は11月9、10日の2日間、出雲ドームで開催された「いずも産業未来博2024」に出展し、ブロッコリー、さつまいも、菌床しいたけ、トマトジュース等の美味しまね認証産品を販売した他、動画映像やパネル展示により、美味しまね認証について紹介しました。

今回、出雲農林高校生2名にも協力していただき、来場者に同制度を「知っている」「見たことはある」「知らない」のいずれかで回答し、ボードにシールを貼ってもらう『知ってる？美味しまね』アンケートを実施しました。来場者約300人の回答結果はほぼ3等分でしたが、回答者の一人一人にリーフレットを手渡し、美味しまね認証について改めて説明しました。制度を知っていると答えた人には、GAPとSDGsはいずれも持続可能性を広げる取組みであることを強調し、美味しまね認証産品を選んで購入してほしいと伝えました。

出雲地域では、GAP・美味しまね認証を取得する農業者が年々増加しています。当農業部としては、引き続き、GAPの取組みを推進すると共に、当協議会の活動支援を通じ、既取得者の取組みのレベルアップ及び連携強化、販売環境構築につなげたいと考えています。



『知ってる？美味しまね』アンケートの実施風景



協力していただいた出雲農林高校生